

学会発表渡航支援報告書

(ふりがな) 氏 名	かく こうほう 郝 洪芳	所属・職名 北京外国語大学日本学研究センター・ 大学院生
発表題名	「インタビュー調査から日中国際業者婚の問題を探る ——中国人妻の結婚動機と日本人夫の問題を中心に」	
著者名	郝 洪芳	
会議名	「アジアにおける家族とジェンダーの変容：近代化とグローバル化の時代に」	
開催地（国、市）	日本・京都	
参加期間	2008 年 7 月 25 日 ~ 7 月 26 日	

今回の学会は第 5 回日文研共同研究会で日本の国際結婚特集ということで招かれた。研究会では各地から来られる先生方々が集まり、熱い議論が交わされ、まだまだ修士の私にとって大変視野が広がり、多くのことを勉強させていただいた。自分の研究も、この報告や質疑応答を通して、刺激されたところが多く、今後に活かしていきたいと思う。

○ 発表内容

報告者は修士論文の成果で、日中国際業者婚の問題について報告した。

まずは 2006 年に中国女性による滋賀県の幼稚園児の殺害事件を糸口に、中国と日本の国際結婚問題を提起し、それから新聞記事などを分析し、世に出た主な見方を並べてみた。それに対し、報告者はいままで行われてきた仲介を通じて結婚した中国女性・日本男性・仲介業者に対するインタビューの内容を紹介し、そこから見えてきた違う視点を提示した。最後は日中国際業者婚に対する新たな見方と問題の解決策を提案した。

○ 質疑内容

質問は主に以下のようなものである。

- 1 女性の場合、高い金額を払って結婚するケースもよくあるが、このことについてどう思う。
- 2 男性もいろんな努力が必要だが、女性の場合は具体的にどんな努力が必要なのか。
- 3 女性は家族のために外国に行くケースもあると聞いたが、いかがでしょうか。

二日間に渡るこの研究会でトランスナショナルな女性労働者たちについてのビデオが放映され、また国際結婚以外に、近現代日本の家族変動の日韓比較やオランダ・インドネシアの主婦に関する報告があり、国際的な視野でいろいろと相対視することができて、個人的には多くの成果が得られた研究会であった。